

4年生(高1)の
自分を知る授業の流れ

4月	ガイダンス
	『R-CAP』実施
	入学時の自分と現在の自分
	自分史
	自分から見た自分、 他人から見た自分
5月	自分の取扱説明書・作成
	自分の取扱説明書・発表
	『R-CAP』分析①
	『R-CAP』分析②
	自分のテーマを考える①
	自分のテーマを考える②

『R-CAP』分析の
オリジナルワークシート

キャリア・グローバル担当総括
飯塚秀彦先生

「生徒が学び考える機会を逃さないようにしたい。やっど1期生が卒業したので、これからは卒業生にも意見を聞き、よりよい教育を目指すつもりです」

ダウンロード可 ※ダウンロードサイト: リクルート進学総研『キャリアガイダンス』発行メディアのご紹介>>クラス担任のためのキャリアガイダンスvol.28

『R-CAP』は自分探しの二環。
自分の「やりがいワード」を探し出し
迷ったときに立ち返る原点とする

四ツ葉学園中等教育学校(群馬・市立)

全国初の市立中等教育学校として開校した伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校。「未来に、そして世界にはばたく、高い知性と豊かな道徳性をもった教養人の育成」を理念とし、中高6年間を通して体験重視のキャリア教育を推進。今年、第1期生が卒業し、予想を上回る進路結果も残した。

まず情報を疑うところから
始める『大学突撃取材』

「開校以来、さまざまな教育メニューを提供し生徒と共に駆け抜けてきた」と言うのはキャリア・グローバル担当総括の飯塚秀彦先生だ。キャリア教育について飯塚先生は「生徒に身につけさせたい力のついでに選択力があります。それは多くの体験や情報のなかから、本当に自分を成長させる糧をみつける力でもあるし、大学などの教育力を見極め、選び取る力でもあります」と語る。

例えば、4年生(高1)の2学期に実施する「大学突撃取材」は、大学が発信する情報が本当に正しいのかどうかを考える体験。生徒自らが希望の大学に取材を申し込み、大学の職員や学生から実情を聞き取る。偏差値や知名度だけで進路を選択せず、本当に学びたいことが学べるかどうかを見極めるための目を養うのが目的だ。
東京に1泊2日で行向き、昨年度は

延べ32大学を取材した。こうした「考える場」を多く作り出し、「安易に進路を決めず、繰り返し自分に問いかけ深く考えてほしい」と飯塚先生。昨年度の卒業生のなかには、何度も悩み深く考えている生徒の姿も見られたそう。

自分にとことん向き合って
視野を広げ、原点を探す

このような進路先の研究と同時に取り組んでいくのは、自分を知るための作業で、特に集中的に実施しているのが4年生の4月～5月(表参照)。まず適性検査「R-CAP」を受け、その後、オリジナルワークシートを使い、入学後の自分の変化を考えたり、自分史を振り返ったりする。それらをもとに、「自分の取扱説明書」を完成させ、「R-CAP」の分析結果を受け取る。

いろいろな適性検査を比較検討した結果、前任校から「R-CAP」を取り入れていたという飯塚先生は、「R-CAP」のよさとして、①実在する社会人のデータを基に作られていること、②付属資料が充実して進路選びにも役立つこと、③教育業界で作られたものではないこと、の3つを挙げる。「多様な面から自分探しをさせたい。『R-CAP』では意外な適性が示されることも多く、視野を広げる助けになっています」と言う。

自分の志望と違う適性が示されても、生徒がそれをいい方向に活用できるよう、飯塚先生は自分の検査結果を伝える。「僕が一番適性があると思われる仕事は栄養士です。だからといって栄養士になればよかったと考えるのではなく、栄養士に求められる資質を違う仕事で発揮できる。生かせるとうらやいます」。さらに、ほかの先生と適性があると診断された職業を結びつけるクイズを出すなどして、どんな人にもさまざまな可能性があるのだと伝えていく。

こうして適性検査に表れた「職業」だけに注目せず、もっと広い視野で検査結果を見つめようと呼べることは、この後の「自分のテーマを考える」という單元につながっていく。まず、自分の将来を「やりがいワード」という動詞で考える作業をさせる。例えば、「医師」ではなく「人を助ける」が「やりがいワード」。まず、それを考えようとして、職業や大学と結びつけていくのである。なお、このときの教材として、50の職業人を紹介している「じぶん未来BOOK」を活用している。

「生徒が進路相談に来てくれたらまず、自分のテーマはなんだった？」と振り返らせるところから始めます。将来、転職をしたり選択に迷ったりいろいろなことがあると思いますが、原点を繰り返し問われた経験はきっと役に立つと思います」(飯塚先生)

スクールデータ

生徒数754人(男子365人・女子389人)
普通科24学級
進路状況(2014年度)／卒業生121人中、大学進学90人、短大進学2人、専攻進学18人、その他11人

群馬県伊勢崎市上植木本町1702-1
電話/0270-21-4151
http://www.yotsuba-ss.ed.jp

取材・文/永井ミカ